

地理情報科学の教授法の確立

- 大学でいかに効果的にGISを教えるか -

2006年1月28日

筑波大学大学院システム情報工学研究科
助教授 渡辺 俊

研究計画

- GIS教育のためのe-learningシステムの開発と運用
- 写真測量による三次元都市モデルの構築と実践



GIS教育のための e-learningシステムの開発と運用

- HomepageのArcGIS 9.1への対応
 - 都市計画情報実習（社会工学類）
 - 地理情報システム特論（社会システム工学専攻）
- WebCTへの移行
 - デジタルアーカイブ（世界遺産専攻：2月）
- 国際会議での発表
 - CAADRIA 2006（3月31日～4月2日）



The screenshot shows a Microsoft Internet Explorer browser window. The title bar reads '地理情報システム特論 - Microsoft Internet Explorer'. The address bar contains the URL 'http://wright.sk.tsukuba.ac.jp/watanabe/02CA060/'. The page content includes a header with '地理情報システム特論 (02CA060)' on the left and '社会システム工学専攻専門科目 2学期 月曜日 8:40 - 11:25' on the right. The main heading is '地理情報システム特論'. Below it, the instructor is listed as '担当：渡辺 俊' with the email address 'shun@sk.tsukuba.ac.jp'. The section '授業概要' (Course Overview) contains a paragraph of text. At the bottom, the section '予定表' (Schedule) is visible, along with a small icon of a computer monitor.

地理情報システム特論
(02CA060)

社会システム工学専攻専門科目
2学期 月曜日 8:40 - 11:25

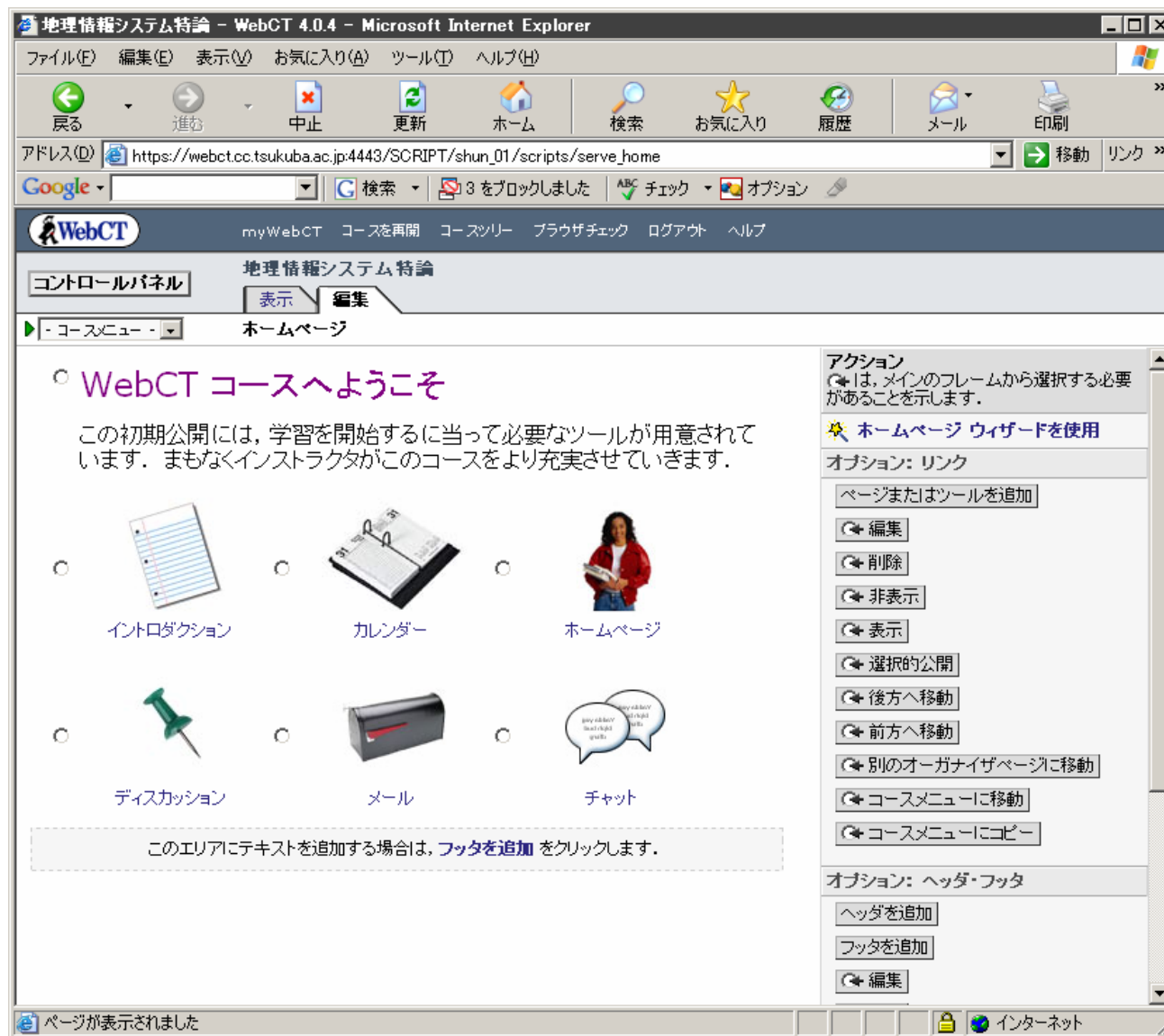
地理情報システム特論

担当：渡辺 俊
shun@sk.tsukuba.ac.jp

授業概要

本授業では、都市地域計画学の研究において有用な「地理情報システム(GIS)を用いた空間分析の手法」を、具体的課題を通じて学習する。GISは社工端末室のWindows2000/XP上で稼働しているArcViewを利用する。受講者は、空間分析の基礎理論、およびVBA(Visual Basic)言語等により簡単なプログラムが作成できる素養を必要とする。授業は、社工計算機システムの使い方およびWindowsデスクトップ環境のオペレーションを習得していることを前提に行なう。なお、ArcViewは筑波大学としてキャンパスライセンスを取得しており、学内ネットワークに接続されているコンピュータであれば、自由にインストールして利用することが可能である。

予定表



地理情報システム特論 - WebCT 4.0.4 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 中止 更新 ホーム 検索 お気に入り 履歴 メール 印刷

アドレス(D) https://webct.cc.tsukuba.ac.jp:4443/SCRIPT/shun_01/scripts/serve_home 移動 リンク

Google 検索 3 をブロックしました チェック オプション

WebCT myWebCT コースを再開 コースツリー ブラウザチェック ログアウト ヘルプ

地理情報システム特論

コントロールパネル 表示 編集

コースメニュー ホームページ

WebCT コースへようこそ

この初期公開には、学習を開始するに当って必要なツールが用意されています。まもなくインストラクタがこのコースをより充実させていきます。

- イントロダクション
- カレンダー
- ホームページ
- ディスカッション
- メール
- チャット

このエリアにテキストを追加する場合は、**フッタを追加** をクリックします。

アクション
☞は、メインのフレームから選択する必要があることを示します。
★ ホームページ ウィザードを使用

オプション: リンク

- ページまたはツールを追加
- 編集
- 削除
- 非表示
- 表示
- 選択的公開
- 後方へ移動
- 前方へ移動
- 別のオーガナイザページに移動
- コースメニューに移動
- コースメニューにコピー

オプション: ヘッダ・フッタ

- ヘッダを追加
- フッタを追加
- 編集

ページが表示されました インターネット



caadria2006 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 中止 更新 ホーム 検索 お気に入り 履歴 メール 印刷

アドレス(D) http://www.caadria2006.org/ 移動 リンク

Google 検索 3 をブロックしました ABC チェック オプション

The Association for Computer-Aided Architectural Design Research in Asia

CAADRIA2006

in Kumamoto, Japan

Home Organizing Committee Conference Program Call for Papers Registration Post-Conference Guide Links Contact us

Introduction

CAADRIA was established on 26 April 1996, with teachers and researchers in school of architecture throughout ASIA, maintaining close relationship with CAAD Futures, ACADIA, eCAADe, SIGRADI, and ASCAAD, to exchange ideas and collaborating on research activities regarding the development of CAAD technology. Our first conference was held in Hong Kong in 1996. We had the third conference in Osaka 1998. In the year 2006, we will come back to Japan again and meet in Kumamoto this time. It is a 400 year old castle city that locates in the Kyushu Island. One hour flight form Osaka, or two hour from Tokyo. This three-day international conference will be conducted in English. The conference will explore visions and ideas on the future of digital technology that could enhance Rhythm and Harmony in architectural design practice and education. We look forward to seeing you in Kumamoto, under full blooming cherry blossoms.

Important Date

- First Call for Papers
--- August 1, 2005
- Extended abstract due
--- October 2, 2005
- Notification of acceptance
--- November 27, 2005
- Early Registration Close
--- January 10, 2006
- Final paper due
--- January 21, 2006
- Conference days
--- March 31-April 2, 2006
- Post-Conference Tour
--- April 3, 2006

New Information

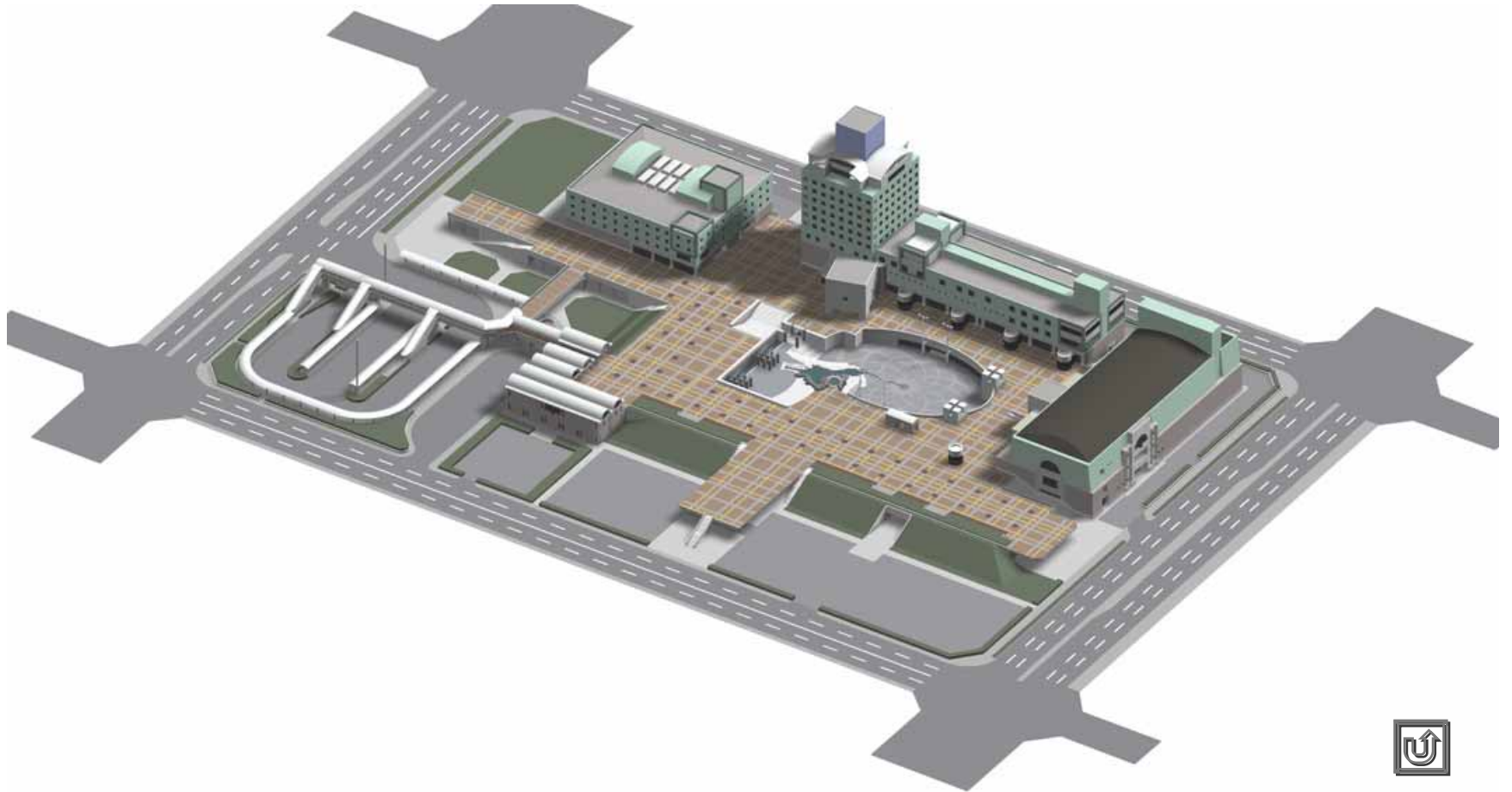
- Final Paper Submission Page was Linked from Call for Papers Page on January 13.

インターネット

写真測量による
三次元都市モデルの構築と実践

- 建築モデルの作成
 - 方法：正確な図面からの入力
 - 問題：既存建築物の図面の不在
- 都市モデルの作成
 - 方法：GISの属性データによる三次元化
 - 問題：データの誤差が甚大
- 都市景観シミュレーション
 - 方法：スケール模型・CG
 - 問題：開発側のプレゼンテーション

建築モデルの作成



都市モデルの作成

- 東京都都市計画地理情報システムより -



写真測量による
三次元都市モデルの構築と実践

- 建築モデル
 - デジタルカメラ (Canon EOS 1 Ds)
 - 写真測量ソフトウェア (TOPCON PI-3000)
- 敷地モデル
 - 人工衛星写真 (QuickBird)
 - CGソフトウェア (Auto*des*sys Form Z)
- データ統合
 - インターネット (Cortona VRML Client)

QuickBird Image Product

(02/06/2005)



